

津守真先生には毎号、心に響くお話を書いていただいています。先日、本誌でおなじみの「はるにれの会」の講演会に参加して、十七年ぶりに先生のお話を伺いました。最後に、参加者の発言へのコメントの中で、保育者として自分が保育したことは、果して良かったのだろうか、と思う時があるが、そんな時は、出合ひの中で最善を尽くすことが大切になる。又、教育は制度にとらわれず、人間を育てることを基本に、やってほしい。これは一人一人の教師の中の問題ですと言われたことが心に残っています。

夏になると、以前勤めていた学童保育クラブでの、あるお弁当のことを思い出します。夏休みのある日、M君がお弁当に「おそうめん」を持ってきました。毎日暑いので、お母さんは、子どもに涼しいお昼を、と考えたのでしょう。最近はい密封容器のお弁当箱が種々あるので、こんな水ものも、お弁当に持ってこられる

のです。そのおそうめんのお弁当を見て、持ってきた本人よりも、まわりの子ども達の方がびっくりしたりうらやましがったり。まさか、おそうめんをお弁当に持ってくるなんて!!

「ねえ、ぼくのお弁当、少しあげるからおそうめんたべさせて!!」

同じテーブルにすわった七・八人の子ども達は、みんなでつゆの入ったコップをまわしあって、M君と一緒におそうめんを全部たべてしまいました。もちろん、自分たちのお弁当もわけあって食べました。その時の子ども達のうれしそうなお顔、忘れられません。

友だちと一緒に食べるだけでなく、一つ釜の飯ならぬ、一つコップのそうめんをみんなで分けあってたべた、それだけで楽しさも増し、彼らのつながりは強くなったようなお弁当の時間でした。

最近、本誌好評のため、手に入りにくく、御不便をおかけしております。(K)

## 幼児の教育 第八十八巻 第七号

七月号 ©

定価四一〇円（本体三九八円）

平成元年 六月二十五日 印刷

平成元年 七月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番  
TEL・二九二七七八一(代)  
◎本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレイベル館にお願いいたします